

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空

上場取引所 大

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 田中 彰一

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

未定

TEL 042-764-0385

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,770	40.4	△30	—	△41	—	△44	—
24年3月期第1四半期	1,260	△36.0	△68	—	△75	—	△40	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △25百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△7.21	—
24年3月期第1四半期	△6.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	9,701	5,398	55.6	876.48
24年3月期	9,629	5,454	56.6	885.68

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,398百万円 24年3月期 5,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,474	32.4	32	—	41	—	34	—	5.54
通期	9,282	31.0	173	—	184	—	166	—	27.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	6,499,000 株	24年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	340,242 株	24年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	6,158,758 株	24年3月期1Q	6,158,776 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が依然として厳しさが残る中、個人消費は持ち直しの動きが見られ、また、復興事業などの政策の下支えにより内需は堅調に推移しているものの、金融不安に端を発する欧州経済の低迷や中国経済の減速など、世界経済の力強さが不足している影響から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、高機能携帯端末市場やカーエレクトロニクス関連市場が、引き続き水晶デバイス業界や電子部品業界の稼働状況を下支えしたものの、製品単価の下落等が弊社製品のユーザー企業に与える影響は大きく、新規設備投資への動きもまた慎重なまま推移いたしました。

こうした環境の中、当社グループは、中国、台湾を中心としたアジア市場に対する受注、販売活動及び国内市場への需要の掘り起こしを積極的に展開してまいりましたが、厳しい状況が続きました。

生産面では、上海子会社における生産比率をさらに高め、原価低減に努めました。

損益面では、仕事量確保のため、利益率の厳しい案件を前期から積極的に受注したこともあり、グローバル調達をはじめとする原価低減や固定費削減を推進しましたが、営業利益を計上するには至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高11億16百万円、（前年同四半期比39.3%減）、売上高17億70百万円（同40.4%増）となりました。

損益につきましては、経常損失41百万円（前年同四半期は75百万円の経常損失）、四半期純損失44百万円（前年同四半期は40百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、受注高8億48百万円（前年同四半期比47.5%減）、売上高15億2百万円（同44.6%増）、セグメント利益は1億8百万円（同4.7%増）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

#### (水晶デバイス業界)

水晶デバイス業界では、主に最新装置の営業活動を積極的に推進してまいりましたが、設備投資に対する動きは慎重なまま推移しました。売上は順調に推移したものの、受注は厳しい状況となりました。

水晶デバイス装置の受注高は4億96百万円（前年同四半期比19.0%減）、売上高は6億6百万円（同49.7%増）となりました。

#### (光学装置)

光学業界では、中国、台湾を中心としたアジア市場に対して積極的に営業活動を推進してまいりました。

光学装置の受注高は1億7百万円（前年同四半期比57.0%減）、売上高は8億10百万円（同80.0%増）となりました。

(電子部品装置、その他装置)

電子部品業界では、最終製品の価格下落や長期化する円高の影響もあり、設備投資に対する動きは低調なまま推移し、売上・受注ともに厳しい状況となりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は2億44百万円(前年同四半期比67.6%減)、売上高は86百万円(同53.2%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、当社サービス部、西日本拠点及び上海子会社を中心に、修理・改造などの引き合いに対し積極的に対応してまいりました。また子会社である株式会社エフ・イー・シーが製造・販売する歯のない歯車「マグトラン」も積極的に営業活動をしてまいりましたが計画に対しては厳しい状況で推移いたしました。

サービス事業の売上高は2億67百万円(前年同四半期比20.8%増)、セグメント利益は37百万円(同21.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は64億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9百万円増加しました。これは主に現金及び預金及びが3億28百万円、受取手形及び売掛金が1億55百万円減少したものの、仕掛品が5億48百万円増加したことによるものです。固定資産は、32億18百万円となりとなり、前連結会計年度末に比べ36百万円減少しました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により29百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は97億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億77百万円増加しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金1億51百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が3億5百万円増加したことによるものです。固定負債は15億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少しました。これは主に長期未払金が26百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は43億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億29百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は53億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少しました。これは主に剰余金の配当30百万円と包括利益が25百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.6%(前連結会計年度末は56.6%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成24年5月11日付「平成24年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,263,819	934,967
受取手形及び売掛金	3,402,216	3,246,782
商品及び製品	8,291	17,159
仕掛品	1,256,262	1,804,328
原材料及び貯蔵品	299,842	296,658
繰延税金資産	109,428	111,231
その他	34,377	72,334
流動資産合計	6,374,237	6,483,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	839,681	831,692
機械装置及び運搬具（純額）	94,235	82,294
土地	2,162,527	2,162,527
その他（純額）	25,448	22,670
有形固定資産合計	3,121,892	3,099,185
無形固定資産		
その他	66,248	59,484
無形固定資産合計	66,248	59,484
投資その他の資産		
投資有価証券	60,548	53,666
その他	86,057	85,921
貸倒引当金	△79,731	△79,731
投資その他の資産合計	66,874	59,856
固定資産合計	3,255,015	3,218,526
資産合計	9,629,252	9,701,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,732,554	2,038,416
1年内返済予定の長期借入金	331,410	180,000
未払法人税等	15,182	8,029
賞与引当金	124,137	50,592
製品保証引当金	69,000	69,000
工事損失引当金	32,100	37,300
その他	241,100	339,842
流動負債合計	2,545,484	2,723,180
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	200,000	200,000
退職給付引当金	498,059	486,877
繰延税金負債	7,668	5,408
その他	123,345	88,479
固定負債合計	1,629,073	1,580,765
負債合計	4,174,557	4,303,946
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	849,817	774,637
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	5,502,805	5,427,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,866	5,434
為替換算調整勘定	△57,977	△35,020
その他の包括利益累計額合計	△48,111	△29,585
純資産合計	5,454,694	5,398,040
負債純資産合計	9,629,252	9,701,987



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,260,691	1,770,006
売上原価	982,183	1,491,792
売上総利益	278,507	278,214
販売費及び一般管理費	347,471	309,198
営業損失(△)	△68,964	△30,983
営業外収益		
受取利息	343	520
受取配当金	210	191
受取賃貸料	5,088	3,355
作業くず売却益	121	664
その他	371	891
営業外収益合計	6,135	5,624
営業外費用		
支払利息	7,301	2,768
売上割引	1,453	230
為替差損	3,146	11,975
その他	1,159	1,586
営業外費用合計	13,060	16,560
経常損失(△)	△75,889	△41,920
特別損失		
固定資産除却損	29	56
特別損失合計	29	56
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,919	△41,977
法人税、住民税及び事業税	4,405	3,934
法人税等調整額	△40,063	△1,525
法人税等合計	△35,657	2,408
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40,261	△44,386
四半期純損失(△)	△40,261	△44,386

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40,261	△44,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,253	△4,431
為替換算調整勘定	10,633	22,957
その他の包括利益合計	9,379	18,525
四半期包括利益	△30,881	△25,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,881	△25,860

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,039,016	221,675	1,260,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,488	1,506	18,994
計	1,056,504	223,181	1,279,685
セグメント利益	103,981	31,072	135,053

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,053
のれんの償却額	△1,730
全社費用（注）	△202,287
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△68,964

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,502,209	267,796	1,770,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	211,180	2,366	213,546
計	1,713,389	270,163	1,983,553
セグメント利益	108,920	37,702	146,622

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	146,622
セグメント間取引消去	△2,741
全社費用（注）	△174,865
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△30,983

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	606,080	149.7
光学装置	810,004	180.0
電子部品装置	86,125	46.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,502,209	144.6
サービス事業		
部品販売	214,532	132.9
修理・その他	52,229	86.6
サービス事業計	266,761	120.3
合計	1,768,971	140.3

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (%)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	496,354	81.0	1,160,347	145.9
光学装置	107,993	43.0	911,746	80.2
電子部品装置	187,056	27.0	229,074	7.5
その他装置	57,000	95.0	57,000	95.0
真空技術応用装置事業計	848,404	52.5	2,358,168	46.9
サービス事業				
部品販売	215,567	133.6	—	—
修理・その他	52,229	86.6	—	—
サービス事業計	267,796	120.8	—	—
合計	1,116,201	60.7	2,358,168	46.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	606,080	149.7
光学装置	810,004	180.0
電子部品装置	86,125	46.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,502,209	144.6
サービス事業		
部品販売	215,567	133.6
修理・その他	52,229	86.6
サービス事業計	267,796	120.8
合計	1,770,006	140.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。